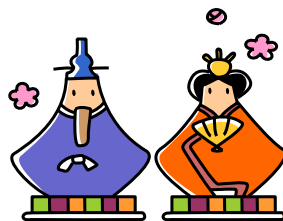


のびのび



令和3年度校長室だより 3月 3日号

湯田小学校の大切な言葉：あしたも会おうね 温かい学校 ~学び合い~

チャレンジ目標 : 湯田小ABC

2分の1 成人式とキャリア教育

校長 藤井 智寛

学校だよりでも紹介しましたが、4年生の2分の1成人式に参列しました。保護者の参加が困難となったため、せめて教職員が参加し子どもたちの意識が高まればと、4クラスが時間帯を少しずつずらして行いました。おかげで私もすべてのクラスの2分の1成人式を見ることができました。どのクラスの子どもたちも、10年間育ててもらった親への感謝と共に将来の夢や目標を語り、一人ひとりの思いや願いの込められた発表を聞いていると、私自身もこれまでの様々な出来事が思い出され、思わず涙しました。

2分の1成人式は、ここ20年くらいで注目されるようになった行事です。子どもたちに自らの成長を実感させるとともに、未来の自分の可能性に気付かせる取組としてキャリア教育の浸透とともに広まってきました。キャリア教育は、2000年代にニート・フリーター問題が取りざたされる中注目され始め、子どもたちを社会人・職業人として自立させるため中学校や高校で行われるようになりました。キャリア教育の「キャリア」とは、私たちが社会生活を送る中で担う様々な役割を表します。私たち大人は、職業人であり、家庭人であり、地域の一員でもありそれぞれの場面で様々な役割を担っています。その役割の中で自分の立場を見つけ、自分の価値を見出し社会の構成員として生活しています。子どもたちもクラスの中で、学習のメンバーであり係活動を行い、給食当番も行います。学校全体でも、たてわり班の一員であり高学年になれば委員会活動で学校全体を支える仕事を担います。つまり小学校の1年生からキャリアを積み重ね



ているわけで、その意味では今やキャリア教育は小学校でもすっかり浸透しています。小学校で大切にしているのは、活動すること（働くこと）の中で自分の役割や価値をどのように見出すかです。これは学校だけで育てていくものではなく、様々な役割を担っている家庭でも必要なことです。2分の1成人式や中学校で行われる立志式だけがキャリア教育の取組として注目されますが、日々の生活の中で子どもたちにキャリアをどのように意識させ働きかけていくかが重要です。

湯田中学校では、2月に予定していた立志式を延期し卒業式後に行うそうです。2分の1成人式も、可能であれば保護者の方に見ていただける機会を設けたいと考えていますが、今のところ新型コロナウイルスの感染状況次第と言ったところでしょうか。

2月 ～新年度に向けて～

2月は新年度に向けての行事がいろいろ行われました。新型コロナウイルスの影響もあり、当初の計画通りにはなかなか実施できませんが、それでも新年度は着々と近づいています。



2月10日(木) 仮入学

本来なら新生も保護者と一緒に来て、1年生と交流する予定にしていたのですが、今回は保護者の方のみの来校です。

新1年生は、入学までに通学路をしっかりと覚えておいてくださいね。



2月28日(月) 湯田中出前講座

2月4日に予定していた中学校の入学説明会が、保護者のみとなったため湯田中学校の校長先生や生徒指導の先生に小学校に来ていただきました。中学校に向けての心構えや中学校の様子についてお話を聞きました。



2月2日(水) ワークショップ

湯田小の職員みんなで、来年度どんな学校にしたいか話し合いました。様々な意見が出されましたが、話し合いの結果「さわやかなあいさつが飛び交う学校」を目指すことに決まりました。



交通安全優良校 表彰

この度、交通安全教育活動を積極的に推進し、児童の交通安全教育と交通事故防止に顕著な功績のあった学校に送られる「交通安全優良校」に湯田小学校が選ばれました。全国で46校しか選ばれない貴重な賞で、本来なら東京で授賞式が行われる予定でしたが、このような状況のため山口県交通安全協会の方が賞状と盾を届けてくださいました。



メダル栄光受賞

坂本蕾実さん(6年)、稔季さん(4年)の姉妹と哲也さん(父)の坂本ファミリーは昨年行われた「寛仁親王牌第36回童謡こどもの歌コンクールグランプリ大会」に出場し、みごとファミリー部門で金賞を受賞されました。その功績が山口県でも認められメダル栄光(文化賞)が授与されました。本来なら県庁で授賞式が行われるところでしたが、学校にて記念の盾を授与しました。

